

An illustration featuring a hand holding a large, light blue Venus symbol (♀) in the center. The symbol is positioned over a group of six stylized figures standing on a red carpet. On the left, there are two women in green and blue dresses and a man in a suit. On the right, there are two women in pink and orange dresses and a man in a suit. The background is a light, neutral color.

ルッキズムについて

ルッキズムとは？

【意味】

ルッキズムとは、人を容姿の美醜によって評価し、**身体的魅力に富む人(美男美女)とそうでない人を差別して扱う**、という考え方(ステレオタイプ)を意味する表現のことです。「外見至上主義」という名称もほぼ同義として扱われます。

【用語について】

“ルッキズム”は“**見た目に基づいた差別**”を表す用語として、“太った人々”によって作られたと言われています。最近できた造語ですが、身体的特徴に対して過度の価値をおくことに対する戒めは、世界の文化や伝統でもしばしばみられます。また古代や中世の哲学でも批判され、外見の役割を避け、重視するべきではないとする様々な理由が詳しく説明されています

ルッキズムの歴史について

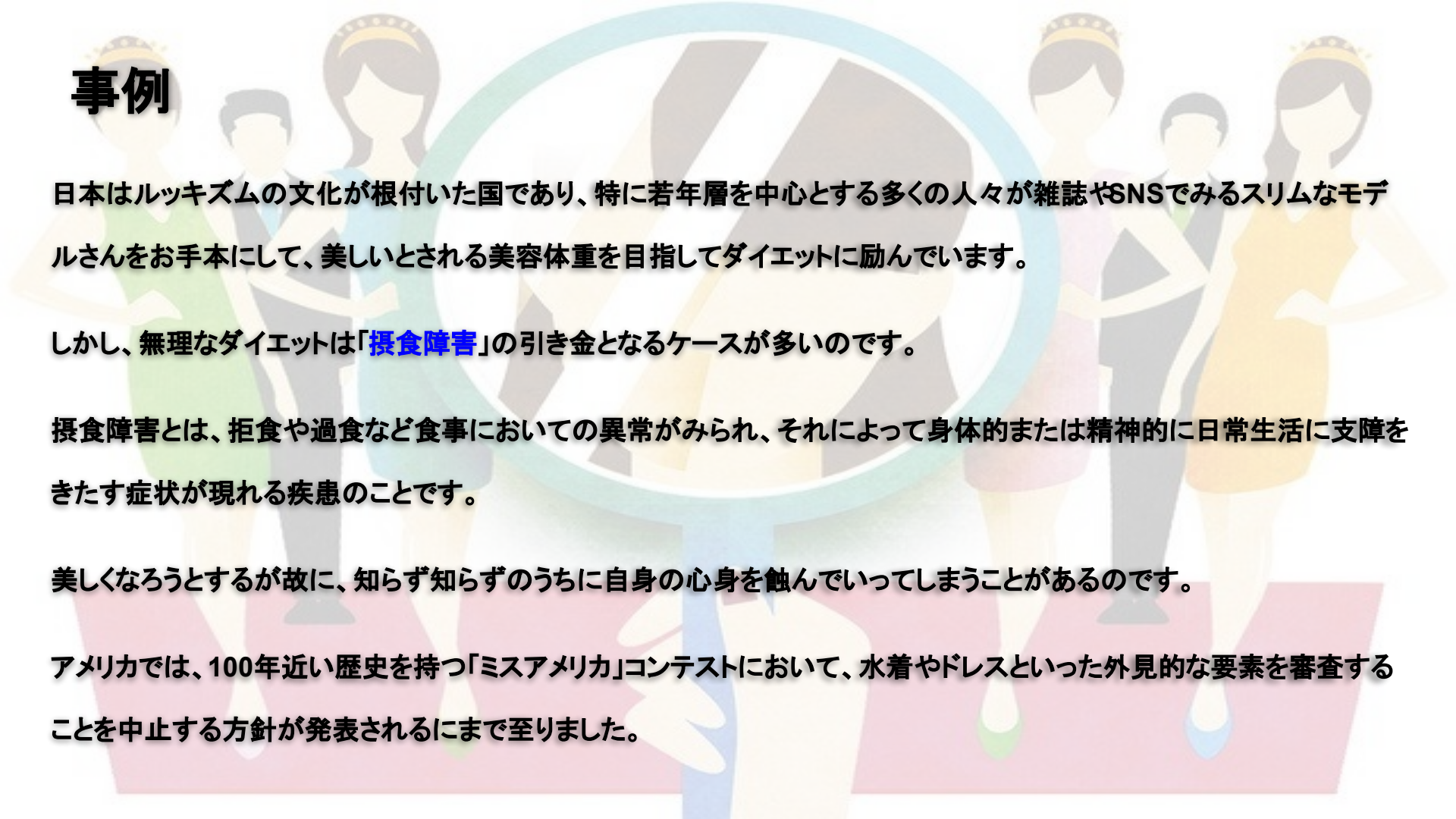
ルッキズムの歴史は、1970年に米国で太っているだけで尊厳が傷つけられたとする抗議運動の中で使われたのが始まりとされています。最近ではオリンピックの演出案において、女性タレントの外見を侮辱するルッキズムが大きく議論され、より認識されるようになりました。

日本でも使われるようになったのは最近で、2018年発行の広辞苑第7版には採用されていないものの、2021年12月17日に刊行予定の三省堂国語辞典には新語として収録されています。

バブル時代は外見至上主義が当たり前で、人材派遣などの面接の際には容姿についてのランク付けがあったり、企業の求人票には「容姿端麗」とかいてあったこともあるそうです。

最近日本国内では、ルッキズム批判を背景にミスコンテストは衰退し、ミスコンを廃止して男女問わず参加できるスピーチなどを競う企画に変更した大学もあります。

事例

The background features a stylized illustration of a fashion show runway. Several models in various colored dresses (green, blue, pink, orange) are walking on a pink runway. A large, light blue magnifying glass is superimposed over the scene, focusing on the models. The overall style is flat and modern.

日本はルッキズムの文化が根付いた国であり、特に若年層を中心とする多くの人々が雑誌やSNSでみるスリムなモデルさんをお手本にして、美しいとされる美容体重を目指してダイエットに励んでいます。

しかし、無理なダイエットは「**摂食障害**」の引き金となるケースが多いのです。

摂食障害とは、拒食や過食など食事における異常がみられ、それによって身体的または精神的に日常生活に支障をきたす症状が現れる疾患のことです。

美しくなろうとするが故に、知らず知らずのうちに自身の心身を蝕んでいってしまうことがあるのです。

アメリカでは、100年近い歴史を持つ「ミスアメリカ」コンテストにおいて、水着やドレスといった外見的な要素を審査することを中止する方針が発表されるにまで至りました。

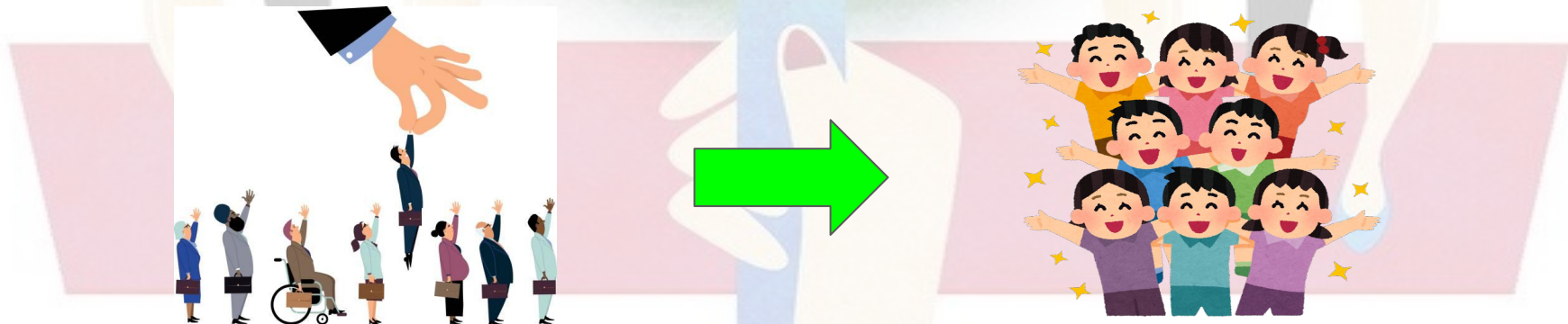
なぜルッキズム(外見至上主義)が起きるのか？

人は外見だけで判断する傾向があります。例えば、筋肉がないから運動音痴、見た目がいいから皆んなから好かれるなどです。

多数派の意見に偏る傾向もあります。小さな誤解から大きな偏見が生まれ、多くの人がそれを信じてしまうのです。

解決策

一人一人、自分の良さがあり価値観も違います。それを理解しあい意識すれば、ルッキズムの問題も減っていきます。



KUIS collectionについて



浜風祭委員会は本企画を実行するにあたり、外見やジェンダーに囚われない形でコンテストを開催することにこだわりました。そのためKUIS collection ではあえて審査基準などは設けず、個性の表現を尊重するコンセプトのもと実施しています。

KUIS collectionとは、性別などの隔たりを作らず、出場者の人となりなど様々な要素を加味した上でグランプリを決めていくコンテストです。

別途KUIS collectionのスライドも作成してありますので、そちらもぜひご覧ください！